

インド&ベネルクス3国 2007.08.10 ~ 2007.08.12

■ 2007.08.10 クアラルンプール→バンガロール ■

マレーシア航空にて、クアラルンプール。この空港は無線 LAN が無料で使える。

ザウルスはなぜか接続できなかったが、ノキア E61 は OK だ。でも、流石に文字入力には厳しいなあ。

23:15 バンガロール着。機内は空いていた。座席 3 つを独り占めできて快適。

バンガロールの入国手続きは、珍しくスムーズ。プリペイド・タクシーでホテルへ。700 ルピー。

さすがに疲れて、すぐ爆睡。



【マレーシア航空機内食】

■ 2007.08.11 アガ스티ア館 ■

ホテルで軽く朝食。マンゴーが美味しかった。9 時半日本語ガイドさんとともにアガスティア館。6 つの特別カンダムのリーディングを依頼。終了後、インドの SIMM カードを購入するため店舗へ。外国人はパスポートでは購入できず。警察の証明書が必要とのこと。あっさり断念。

ガイドのマニーシュさんとともに MG ロード繁華街のパブで昼酒。

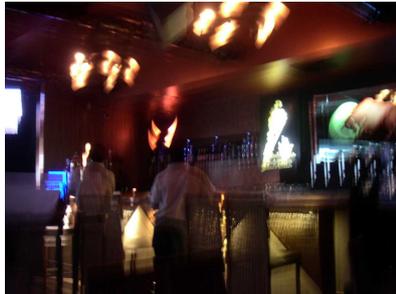
辛いチキン・ケバブをつまみにキングフィッシャー・ビールとテキィラ、地ウイスキー。

シメは、ファーストフード店でチキン・ビリヤニ。明け方の出発に備え、午後 4 時就寝。

11 時起床、12 時チェックアウト。空港までのタクシーは 550 ルピーですんだ。



【ショッピングモール】



【パブ】



【チキン・ケバブ】

■ 2007.08.12 フランクフルト→コブレンツ ■

悪名高いバンガロール空港の荷物検査は、毎回嫌な思いをさせられてきた。

今回も覚悟して来たのだが、意外なことに極めて順調で係員の態度も良好だった。あまりの評判の悪さに指導が入ったのかわかるとは不明だが、大幅に改善されたことは素直に喜ぼうっと。

エミレーツ航空 EK519 便は、定刻 04:15、ドバイにむけ離陸。

ドバイへは、現地時間 6:45 到着。乗り継ぎ便までに 8 時間もある。

持参した映画をザウルスで見たり、新書を読んだり、免税店を散策したり…。

冷房が効き過ぎているため、眠るには毛布が必要だなあ。

14:30 発 19:25 フランクフルト国際空港着。ターミナル 2 から、無料シャトルバスでターミナル 1 へ。どこで切符を買うのかわからなかったが、インフォメーションで聞いて、長距離列車に飛び乗り、ルクセンブルグ方面に向かう。乗り換え駅のコブレンツへ着いたときは、22:30 を過ぎていた。

フランクフルト、コブレンツ間の列車代金は 25 ユーロ。今夜の宿はここに決める。

駅前ホテル 57 ユーロ。隣のレストランでドイツビール一杯。うんめいっ！！



【ドバイの空港】



【エミレーツ航空機内食】



【ドイツビール】

■ 2007.08.13 ルクセンブルク→ブリュッセル ■

朝食をゆっくりとる。ハムやチーズがやたらにおいしい。列車でルクセンブルグへ(30.9ユーロ)。途中のモーゼル川沿いを走る景色がよく、しばし見とれる。川べりのかなり長い区間、オートキャンプ場になっていて、キャンピングカーや家のようなテントがずらーっと並んでいた。

さすがはドイツ、アウトドアの楽しみ方をよく知ってるな。11時頃ルクセンブルク到着。

神奈川県ほどの面積の小国。際だった特色のある国ではないが、訪問国をひとつ稼ぐために訪れた。町並みに趣があるのと、ノートルダム寺院が見所だった。

2時間ほど滞在した後、ベルギーへ。所要3時間で首都ブリュッセル着(29.8ユーロ)。

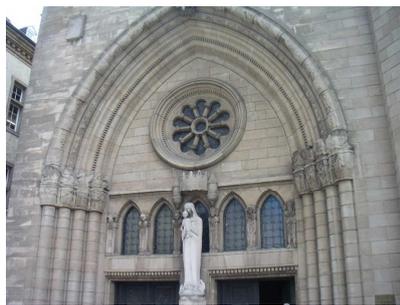
うっかり下車駅をまちがえ、地下鉄でひきかえす。迷いながらも、王宮や広場を見学。中心部の広場「グランプラス」へたどり着く。ここは、市庁舎をはじめ、見所いっぱい。85ユーロの中級ホテルを70ユーロに値切って宿泊。かなりいいお部屋と設備。バスタブがあるのはありがたい。

湯船につかったのは5日ぶりだ。列車の冷房にやられたらしく、鼻水ぐじゅぐじゅ。

うとうと寝込んで、起きたら22:30すぎ。広場の音と光のショーは、ほんのすこしだけしか見学できなかった。レストランにて、ベルギービールとチキン。美味。



【モーゼル川沿いの風景】



【ノートルダム寺院@ルクセンブルク】



【ステンドグラス】



【ブリュッセル市立博物館】



【ストリートパフォーマー】



【ベルギー麦酒&チキン】

■ 2007.08.14 ブリュッセル→アムステルダム ■

9時頃チェックアウト。宿代を値切ったのに朝食も付くと知り、ゆっくりいただく。

チーズがうまいですなあ。ブリュッセルの名所といえば、小便小僧の像。「世界大がっかり」ポイントの一つでございます。



【小便小僧アップ】



【小便小僧全景(かなり小さい)】



【ブリュッセル市庁舎】

列車でオランダの首都アムステルダムへ。所要3時間(34.4ユーロ)。

駅からダム広場まで、ゆっくり歩く。建物のセンスがよく、どれが古いのか新しいのか分からないほど、調和のとれた町並み。ダム広場には大道芸人たちがたくさんいて、いろんなパフォーマンスをしていた。マラケシュの広場の苦い経験を思い出しながら、そっと写真をとるまくっちゃった。

ホテルを探したが、ハイシーズンらしくみな満室。1軒だけ空き部屋があったが、部屋を見せてもらったら狭くて設備悪いのに65ユーロ。昨日の70ユーロの部屋とは雲泥の差。
 手数料はかかったが、インフォメーションで郊外の高級ホテルを紹介してもらう。
 ترام（市電）で移動。途中の町並みや運河をゆっくり見学できたのは幸い。
 オランダは自転車大国ということで、どこでも自転車が多い。専用道路や駐輪設備も整っており、都市の交通はこうあるべき、というお手本のような街である。
 ホテル代金は109ユーロ。清潔、豪華、快適で、言うことなし。
 無料と思ったミネラルウォーター1リットルが5ユーロもしたのには参ったが…。
 ホテルのバーでビールとワイン。ハイネケンとホワイトビール、白ワイン。どれも旨かった。
 仕上げはレストランでパスタ&ハイネケン。



【ダム広場の大道芸人たち】



【ハイネケンの生はサイコー】

■ 2007.08.15 アムステルダム→フランクフルト ■

アムステルダム観光の名所といえば、「アンネ日記」で有名な、「アンネ・フランクの家」である。到着して、あまりの行列の長さにはびっくり。これでは、2～3時間はゆうにかかるだろう。見学を断念して中央駅へ。やむなく12:50 ICE 特急でフランクフルトへ向かう。740ユーロ。

直通のはずが、事故か何かで3度も乗り換えさせられるハメに…。

英語の車内放送があったので、何とか間違えずにすんだ。

17時頃フランクフルト中央駅到着。ガイドブックにあった駅前のホテルTOPASに宿をとる。

47ユーロ。部屋は広くはないが、新しく清潔で、必要十分な設備。近くのレストランで夕食。

ビールは結構あたりはずれがある感じ。食事はボリューム満点で、半分くらいしか食べられず。



【アンネ・フランクの家大行列】



【運河&観光ボート】



【アムステルダム郊外高級ホテル】

■ 2007.08.16 フランクフルト市内観光 ■

ホテルの朝食バイキングをゆっくり楽しむ。ハムやチーズがほんと美味しいですなあ。

12時チェックアウトぎりぎりまで、部屋でくつろいだ。

午後、歩いて、フランクフルト市内観光。

外で食事をしながら、ビールやワインを飲んでいる人が大勢いる。ワインの立ち飲み屋台があるのにはびっくりした。

郵便局を探して、日本へエアメール。意外に思うかもしれないが、外国から郵便を出すのはこれが初めてである。

バルトメウス大聖堂、旧市庁舎、レーマー広場、ゲーテハウス（+ゲーテ博物館）などを見学。

中央駅に戻って、フランクフルトソーセージとビールを購入。その場で食す。

通りがかりの人に、じろじろ見られて恥ずかしかった…。

フランクフルト国際空港では、無料のPC端末を見つけた。

日本語の入力もできるとは、うれしい限り。

22:10 エミレーツ航空でドバイへ向かう。



【ワインの立ち飲み屋台】



【バルトメウス大聖堂内部】



【レーマー広場の旧市庁舎】



【美しい木造建築】



【ゲーテハウス】



【駅でソーセージ&ビール】

■ 2007.08.17 ドバイ→バンガロール ■

06:40 ドバイ国際空港到着。ノキアの無線 LAN が無料でつながった。

相変わらずザウルスはダメ。原因は何？

17:20 再びバンガロール国際空港到着。

前回と同じホテルへ、プリペイド・タクシーを手配。330 ルピー。

前回支払ったのは 700 ルピー。ということは、2 倍ボラれたということ。(怒！)

同じ空港の、ほぼ向かいにある窓口で不正が行われるとは、日本人の感覚では理解できない！？



【ぼられた窓口】



【路上の揚げ物売り屋さん】



■ 2007.08.18 アパートで大宴会 ■

午後 2 時、アガスティア館へ。依頼していたリーディング・ブックを受け取る。

ガンジーロードのパブでビール。あまりの高音響に話もできず。

マニーシュさんのアパートで飲み直し。同居している人や友人たちがあつまり大宴会に。

彼らの手作りカレーもごちそうになる。ホテルに戻って宴会の続き。

海外でこんなにお酒を飲んだのは初めて。いつ寝たのか記憶なし。(^_^;)



■ 2007.08.19 マイソール ■

タクシーをチャーターして、マイソールへ。マニーシュさんと、その友人が同乗。

ティプー・スルタンの夏の宮殿、チャームンディシュワリ寺院、シュリシュヴェタヴァラハスワミ寺院、マイソール宮殿、などを観光。

昼食はレストランで。チキン・ビリヤーンとマトン・カレー。

オーストラリアのビールはあまり美味しくなかった。

バンガロールに戻り、日本食レストラン「播磨」へ。

メニューを見て、すべての値段が高いのにびっくり。

串カツを230ルピー（約700円）で食べる。

午後8時半、バンガロール国際空港。いよいよ帰国の途につく。



【ティプー・スルタン夏の宮殿】



【チャームンディシュワリ寺院】



【シュリシュヴェタヴァラハスワミ寺院】



【マイソール宮殿】



【アイス売り】



【日本食レストラン播磨】